

## 令和元年度岩手県青少年育成県民会議事業実施状況

事業は、公益社団法人認可を受けた事業体系である「青少年育成支援事業（公益目的事業1）」、「自立と社会参加推進事業（公益目的事業2）」及び「家庭づくり・健全な環境づくり事業（公益目的事業3）」の3つに大きく区分しており、そのうち県民会議が独自に実施した事業については「法人事業」、県からの補助を受けて実施した事業については「県補助事業」、県から運営を受託している青少年活動交流センターの業務という形で実施した事業については「センター事業」と表記しています。

### 1 青少年育成支援事業（公益目的事業1）

青少年の健全育成の普及、啓発、助長を図るため、引き続き地域における青少年育成の中核である市町村民会議との連携を進めるほか、地域の青少年関係団体等における人材育成や活動に関する意見情報交換、青少年の健全育成に関する様々なデータについての情報発信を行うとともに、各団体、グループ、ボランティア等がそれぞれの地域で実施する活動の支援を行いました。

#### (1) 青少年育成セミナー（研修会、関係団体意見・情報交換会）《法人事業》

県民会議の事業運営等に対する要望の把握や事業連携方策の検討、様々な課題に関する意見情報交換や講演会の開催等を通じて、市町村民会議ほか青少年関係団体等との連携強化と育成活動の活性化を図りました。

##### ① 研修会、関係団体意見・情報交換会

期 日：令和元年6月3日（月）

会 場：アイーナ6階 団体活動室2・3

参加者：29名（青少年団体、青少年育成団体及び市町村民会議、NPO等）

内 容：説 明 県民会議の主要事業等について、青少年健全育成事業について  
出席団体の今年度の事業計画について

講 演「子ども虐待の理解と対応」

岩手県立大学社会福祉学部 教授 三上邦彦氏

##### ② 各市町村民会議、青少年関係団体等との意見交換・懇談会

期 日：令和元年5月～令和2年3月（随時）

団 体：北上市地域安全推進市民会議、花巻市青少年育成市民会議、矢巾町青少年健全育成町民会議、“世界につながるまち盛岡”市民会議、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会（6団体）

内 容：各地域に出向いての地域での青少年育成活動の実情と課題、市町村民会議及び青少年関係団体等との連携方策、県民会議の今後の在り方等に関する意見交換 等

#### (2) 青少年育成地域活動支援事業《法人事業》（※公益目的事業3「子どもと向き合う親の講座」と合わせて実施）

地域における青少年育成活動の推進及び親の世代の子育て意識や教育力の向上を図るため、地域で活動する団体が行う体験・交流・実践活動事業や家庭・地域ふれあい教育推進事業7件に対し助成（決定）しました（1件5万円以内）。

審査会の開催 令和元年6月18日（火） アイーナ6階 講師控室1・2

##### ○ 助成対象団体：ママフェスいわて実行委員会

・事業名：ママフェスいわて2019

・日 時：令和元年5月12日（日）

・場 所：オガール紫波

・参加人数：パネルディスカッション参加者22名、来場者1,500名

・内 容：パネルディスカッション、出店

・助成額：40,000円

- 助成対象団体：山田町立大沢小学校 PTA
  - ・事業名：家庭教育学級（講演会）
  - ・日 時：令和元年6月27日（木）
  - ・場 所：山田町立大沢小学校 多目的室
  - ・参加人数：大沢小学校保護者、近隣小中学校保護者、教職員、近隣住民、町職員 36名
  - ・内 容：子育て講演会「親の背中って何？」
  - ・助成額：40,000円
- 助成対象団体：何でもやろう会
  - ・事業名：「世代間交流からの自己発見」（農業体験）
  - ・日 時：令和元年7月27日（土）、8月5日（月）
  - ・場 所：盛岡市見前南地区公民館ホール、調理室、飯岡地区のブルーベリー畑
  - ・参加人数：岩手県立盛岡南高等学校生徒 22名
  - ・内 容：収穫作業、ジャム作り等、高齢者と交流、ブルーベリージャムを使ったお菓子でおもてなし
  - ・助成額 10,000円
- 助成対象団体：笹渡地区教育振興会
  - ・事業名：笹渡地区教育振興会被災地支援事業
  - ・日 時：令和元年8月3日（土）
  - ・場 所：下閉伊郡岩泉町月出森山地区
  - ・参加人数：指導者、小学生、中学生、高校生 計16名
  - ・内 容：被災地視察、支援ボランティア活動
  - ・助成額：25,000円
- 助成対象団体：盛岡ユースセンター
  - ・事業名：不登校経験者のための進路セミナー
  - ・日 時：令和元年9月8日（日）
  - ・場 所：盛岡ユースセンター（盛岡市）
  - ・参加人数：①午前：中高生、保護者 17名 ②午後：保護者、教育関係者 12名
  - ・内 容：①生徒及び保護者対象進路セミナー（進路を考える際に気を付けるポイント等）  
②保護者、教育関係者対象進路セミナー（支援者がどう子どもたちを見守り応援していくか等）
  - ・助成額：39,958円
- 助成対象団体：花巻市青少年育成市民会議
  - ・事業名：花巻市青少年育成市民会議創立30年記念事業
  - ・日 時：令和元年12月8日（日）
  - ・場 所：石鳥谷生涯学習会館 講堂
  - ・参加人数：花巻市民等 105名
  - ・内 容：30周年記念式典（表彰（2団体）、活動の歴史紹介、実践発表（3団体））
  - ・助成額：40,000円
- 助成対象団体：PLELL（プレル）
  - ・事業名：こども謎解き体験「ナゾトキヒミツキチ！」
  - ・日 時：令和2年1月5日（日）
  - ・場 所：アイーナ6階 団体活動室
  - ・参加人数：小学4年生～6年生 20名
  - ・内 容：「謎解き」をテーマとしたワークショップ
  - ・助成額：40,000円

### (3) 青少年育成指導者研修事業《法人事業》

市町村民会議会員、青少年育成指導者等の指導・育成能力の向上や青少年の育成支援活動の活発化を図るため、各種研修会等を開催するほか、内閣府主催等のブロック研修会や中央研修会等に関係者の派遣を行いました。

- ① 子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業 北海道・東北ブロック研修会
  - ・期 日：令和元年10月25日（金）
  - ・会 場：宮城県 東京エレクトロンホール宮城
  - ・参加者：14名
- ② 子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業 中央研修会
  - ・期 日：令和元年11月25日（月）～26日（火）
  - ・会 場：令和元年東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター
  - ・参加者：2名
- ③ 子ども・若者総合相談センター機能高度化のための会合
  - ・期 日：令和元年12月9日（月）～11日（水）
  - ・会 場：東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター
  - ・参加者：1名
- ④ 子ども・若者総合相談センター機能普及に関する研修
  - ・期 日：令和元年12月9日（月）～13日（金）
  - ・会 場：東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター
  - ・参加者：1名
- ⑤ 子供の未来応援フォーラム 子供の貧困×SDGs in 東京
  - ・期 日：令和元年12月18日（水）
  - ・会 場：東京都 時事通信ホール
  - ・参加者：1名
- ⑥ 青少年問題調査研究会
  - ・期 日：令和元年12月24日（火）
  - ・会 場：東京都 中央合同庁舎
  - ・参加者：2名

### (4) 青少年育成講師等派遣事業《法人事業》

地域における青少年育成活動の活性化を図るとともに、家庭や地域の教育力の向上に資するため、青少年育成支援活動に関わる実践者や活動家などの幅広い分野の人材を名簿に登録して、地域で活動する団体・グループが行う研修会・講演会に対し講師派遣の支援を行いました。

- 支援内容：講師登録者数：16名、1団体（うち新規登録2名）

派遣実績：5回 3名

（二戸市青少年を犯罪被害から守る市民大会、附馬牛小学校 PTA 家庭教育ゼミナール、一方井地区教育振興のつどい、川口中学校区教育振興運動「教育振興の集い」、西和賀町青少年問題協議会）

### (5) 青少年育成貢献団体・貢献者表彰事業《法人事業》

優れた活動を行っている青少年、青少年育成指導者、青少年団体・グループ及び青少年育成団体等を広く顕彰するため、会員団体及び市町村から推薦を受け、令和2年2月に選考委員会を開催し、青少年育成活動団体1団体、青少年育成指導者1名を表彰対象者として決定しました。表彰は、次年度の通常総会（令和2年6月）の席上で行います。

| 区分 |           | 氏名（所属）               | 市町村 |
|----|-----------|----------------------|-----|
| 団体 | 青少年育成活動団体 | 大川郷土芸能保存会長田剣舞        | 岩泉町 |
| 個人 | 青少年育成指導者  | 齊藤 祐子（日本ボーイスカウト岩手連盟） | 盛岡市 |

## (6) 青少年ボランティア活動促進事業 《法人事業・センター事業》

年間を通じ青少年ボランティアを募集し、センターのボランティアスタッフとして登録して、希望塾の青年サポーターやセンター事業でのボランティアとして活動してもらうとともに、ボランティア登録者に対し、事業を通じたボランティアに関する研修の実施や、相互に交流・学習する場を設けること等により、ボランティアの育成とその活動の活発化を促進しています。

### ア 事業を通じたボランティアに関する研修の実施

いわて希望塾の青年サポーター等のセンター事業へのボランティア参加者が、事業の企画段階から参画するとともに、相互に交流する機会を設けることにより、ボランティア活動の活性化を促進しました。

- ・期 日：通 年
- ・内 容：観武が原祭（12名）、いわて希望塾サポーター（8名）の事前打合せ、いわて親子フェスティバルのボランティア（117名）による企画会議（6回）及び実行委員会（3回）など、事業を通じた研修や交流を行い、ボランティア相互のネットワーク形成の機会を設けました。
- ・参加者：県内に在住する概ね16歳～30歳の青少年、登録ボランティア（148名）を含め延べ 約566名

### イ ボランティア活動促進のための講座

体験イベントを通じたボランティアが相互に交流・学習する講座を行いました。（1回）

#### すぐに活かせる！こどもの心をつかむわくわくワークショップ

期 日：令和2年1月13日（月）

会 場：アイーナ8階812

対象者：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、ボランティア等 76名

内 容：第1部 くぼたまさによるおとなのための研修会

講師：久保田雅人氏

第2部 こどもの心をひらくコミュニケーション講座

講師：盛岡大学短期大学部幼児教育科助教 及川未希生氏

## (7) 青少年健全育成広報事業 《法人事業・センター事業》

青少年活動交流センターにおける各種事業の実施や青少年の育成支援活動の先進的取組等に係る様々な情報について、広報紙やホームページ等により広報活動を行いました。

また、青少年に関わる様々なデータのほか、各種資料、報告書や論考等を加えて、青少年関係団体を始め広く県民に提供することを通じ、青少年健全育成運動の更なる活性化を図りました。

### ア 一般広報事業

- ① 広報紙「青少年いわて」（11月、3月・各1,800部発行）
- ② インターネットによる広報 (<http://www.aiina.jp/seishounen/>)  
アクセス数 49,927件 情報発信 295日  
ツイッターフォロワー 719名 フェイスブック友達 142名
- ③ リーフレット  
青少年健全育成県民運動啓発用「いわて家庭の日」カレンダー電子版の配信  
各市町村等12回（毎月1回）
- ④ 啓発活動 いわて家庭の日・相談室PRカード配布 300部
- ⑤ 「わたしの主張岩手県大会」発表文集 1,000部
- ⑥ 「いわて希望塾」事業報告書 300部

### イ データベース事業

青少年に関わる情報について、県や市町村、青少年関係団体等が常に最新の情報を共有し、相互に連携の執れた事業展開がなされるよう、健全育成、保健福祉、教育、非行防止等の

各部門がそれぞれ独自に保有する様々なデータや各種資料等を収集、整理・分類等を行い、青少年活動交流センターのホームページを通じて青少年の育成支援に関する情報の総合的な提供を行いました。

#### (8) 青少年調査・研究事業《法人事業》

青少年を巡る厳しい社会経済情勢が続く中、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の問題について、県においては、平成 28 年度に子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会の設置や指定支援機関の指定を行い、平成 29 年 4 月には総合相談センターを設置するなど、支援体制の構築とその充実に取り組んでおり、そうした県の動向に応じて、今後の支援の在り方等について県外の先進地の調査・研究を実施しました。

また、県民会議団体会員を対象に、今後の取組方針や新たな事業計画の検討の基礎資料とするためアンケート調査を行いました。

## 2 自立と社会参加推進事業（公益目的事業 2）

次代を担う青少年の自立と社会参加を促進するため、社会人としての基礎的能力や地域づくり等への意識・意欲の向上を図るための研修・講座等事業を開催するほか、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の自立や支援を進めるための方策等についての学習の機会を提供しました。

また、青少年やその家族等を対象とする「なやみ相談室」を運営し、青少年の自立を支援しました。

#### (1) わたしの主張岩手県大会《県補助事業》

次代を担う中学生が、未来に向けての夢や日常生活で感じたことなどについて発表する県大会を開催し、自らの主張を正しく理解してもらう力を身に付けることや、地域社会との関わりについて考え、行動する契機とするほか、中学生の考えや行動に対する理解を深める機会としました。

期 日：令和元年 9 月 18 日（水）

会 場：アイーナ 小田島組☆ほ～る

参加者：各地区代表者等 18 名（地区大会応募者 4,091 名）

・入賞者：最優秀賞 1 名 優秀賞 2 名 優良賞 3 名

※ 最優秀賞受賞者は、全国大会の席上で、努力賞を受賞。

| 区 分  | 発 表 題       | 学 校 名       | 氏 名   |
|------|-------------|-------------|-------|
| 最優秀賞 | 自由にはばたける社会へ | 宮古市立第一中学校   | 小笠原 凜 |
| 優秀賞  | 「普通」というものさし | 一戸町立一戸中学校   | 松尾 帆夏 |
| 優秀賞  | ばばからの伝言     | 大船渡市立大船渡中学校 | 小林 友香 |
| 優良賞  | 「いのち」を感じて   | 八幡平市立西根中学校  | 小黒 紗彩 |
| 〃    | 「幸せ」の橋渡し    | 紫波町立紫波第三中学校 | 浦田 唯花 |
| 〃    | 当たり前の幸せ     | 釜石市立唐丹中学校   | 木村 雪月 |

#### (2) いわて希望塾《センター事業》

震災からの復興が進む沿岸地域において、県内の中学生が体験的活動や市町村の枠を越えた交流活動、復興についての学びを行うことにより、震災を風化させることなく、積極的に岩手の復興や地域づくりを担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材の育成を図りました。

また、研修にはサポーターとして学生ボランティア等が参加し、ボランティアとの異世代交流を通じて幅広い考え方を養うとともに、ボランティア自身の学びの場としても活用しました。

期 日：令和元年 11 月 2 日（土）～4 日（月・祝）〈2泊3日〉

会 場：陸中海岸青少年の家（山田町）

参加者：県内中学生約 122 人、青年サポーター 8 人

内 容：① コース別学習（宮古市・山田町・釜石市）

- ② テーマ別ディスカッション・「未来へのヒント部屋」
- ③ ワークショップ・グループディスカッション 講師：及川未希生氏
- ④ 塾長（岩手県知事）メッセージ、塾長との対話
- ⑤ ミニトークショー 講師：ふじポンさん
- ⑥ 未来への宣言（全体発表）・ふりかえり

**(3) 青少年体験講座（「子どもの食事づくりワークショップ（クッキング）」）《センター事業》**

小学生を主な対象とする講座において、調理など家事を手伝う積極性やマナーを学び、また、協力することの大切さや他者を思いやる心を養います。（※アイーナ指定管理者と共催）

期 日：令和2年2月29日（土）（予定）

会 場：アイーナ6階調理実習室

内 容：ランチやデザートなどの食事作り、参加者の会食・交流

※新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

**(4) 国際交流シンポジウム（国際理解・協力推進事業）《センター事業》**

国際的視野と国際協調の精神を身に付けた青少年を育成するため、県内に在住する外国青年（留学生等）をスピーカーとして各国の事情、生活文化の紹介や日本で暮らす印象などを語るフォーラム及び県内青少年との交流会を行います。

期 日：令和2年3月2日（月）（予定）

場 所：岩手大学

内 容：県内在住外国人による自国の紹介、生活様式、日本で暮らす印象などを語るフォーラム及び交流会

対 象：主として高校生以上

※新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

**(5) 情報メディア対応促進事業《センター事業》**

青少年のインターネットやスマートフォン等の利用が増え、有害情報で被害を受けたり、ネット上の誹謗、中傷、いじめなど青少年の健全育成上様々な課題が生じていることから、情報機器の正しい利用について地域での主体的な取組を促進し、青少年の健全育成を推進しました。

また、情報メディアに関する相談や研修会開催についての相談にも応じました。

**ア 情報メディア対応能力養成講座（4地域）**

県内4地域において、青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の違法・有害な情報やネットの特性を利用した犯罪、モラルを逸脱した行為等により、青少年が被害者あるいは加害者になることを未然に防ぐため、ネットを巡る青少年の現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成するための講座を開催しました。

期 日：県北地区（久慈市 11/11）、県南地区（奥州市 11/17）、県央地区（滝沢市 11/22）、  
沿岸地区（釜石市 11/27）

参加者：合計（4回）172名

講 師：警察署職員、東北総合通信局職員等

**イ 情報メディア「出前」講座**

PTA関係者、保護者等からの要請に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座開催等に対する支援を行いました。（20回開催）

期 日：令和元年5月～令和2年3月

受講団体：小学校、中学校、高等学校、PTA、公民館等 延べ1,767名

講 師：青少年活動交流センター職員

### ウ 情報メディア対応サポーター育成セミナー

一定のIT知識を有する若者、PTA関係者や青少年健全育成関係者を対象として、最新のIT事情や指導プログラムの習得などを行う研修会を開催し、地域においてネット上の有害環境から青少年を守るための情報提供やアドバイスができ、トラブル等の解決にも対応できるサポーターを育成しました。

期 日：令和元年7月20日（土）

会 場：アイーナ6階 団体活動室2

内 容：講話・実機体験、グループワーク

「子どもたちを取り巻くネットやスマホの世界」（最新のネット事情やトラブル事例 等）

「SNSに潜む危険」（個人情報、ネット依存、炎上、ネットコミュニケーションの課題 等）

「安心・安全のための実践的対処法を学ぶ」（セキュリティ対策やルール作り、家庭等での取組み 等）

NPO法人企業教育研究会・長岡造形大学非常勤講師 市野 敬介 氏

参加者：PTA、教育関係者、青少年育成団体等 10名

### エ 情報メディア対応機関連絡会議

情報メディア関係機関・団体等が相互に情報・意見交換を行い、最新の状況について共通認識を得るとともに、連携のとれた事業展開を行うことにより、相互の事業の効果的・効率的な推進を図りました。

期 日：令和元年5月27日（月）

内 容：最新のネット上の課題、地域における効果的な普及・啓発プログラム、相互の連携の在り方等についての協議・意見交換等

参加者：警察、総合教育センター、少年センター等 9名

### (6) 社会生活に困難を有する子ども・若者支援推進事業《法人事業・センター事業》

社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者の現状や社会的背景及び支援方策について幅広く学習するとともに、専門家による4回の連続講座（講話及びグループワーク）を開催し、今後における「子ども・若者支援」の推進の在り方等について理解と認識を深めました。

・参加者：青少年育成団体、市町村青少年担当者、学校、幼保園関係者等 合計（4回）256名

| 期 日             | 演 題                           | 講 師                                | 参加者  |
|-----------------|-------------------------------|------------------------------------|------|
| 第1回<br>8月24日（土） | 発達障害を抱える子どもとのすてきな向き合い方～講話と体験～ | 社会福祉法人新生会 みちのく療育園<br>副施設長 川村 みや子 氏 | 63名  |
| 第2回<br>9月7日（土）  | ペアレントトレーニング体験講座               | NPO法人「紫波さぷり」<br>代 表 細川 恵子 氏        | 44名  |
| 第3回<br>9月21日（土） |                               | 臨床心理士 樋渡 朗子 氏                      | 42名  |
| 第4回<br>2月18日（火） | 発達に特性のある子どもたちの理解と支援           | 国立大学法人 東京学芸大学<br>教職大学院教授 藤野 博 氏    | 107名 |

### (7) 相談事業《センター事業》

平成29年4月に、相談室が子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者総合相談センター」として位置づけられ、より多くの多様な相談が寄せられることが予想されることから、これまで以上に相談員としての資質向上に努めるとともに、関係機関との連携強化を図りました。

#### ア 「青少年なやみ相談室」の運営

「青少年なやみ相談室」の相談員により、青少年の悩みや青少年活動に関する電話、面接又はメールによる相談に対応しました。なお、「子ども・若者総合相談センター」として、「相談室」の幅広い周知と利用の促進に努めました。相談件数：648件

## イ 青少年相談事例検討会の開催

各相談機関が有する相談事例の情報共有及び事例への対応の在り方を検討する機会を確保し、相談スキルの向上を図るとともに、相談機関相互の連携を強化し、問題を抱える子ども・若者への支援を更に進めるため、他機関等の相談員の参加による事例検討会を開催しました。

### 第1回（セミナー、グループワーク）

- ・期 日：令和元年8月2日（金）
- ・会 場：アイーナ8階 812 研修室
- ・参加者：相談機関の相談関係者等 85名
- ・内 容：講演「子どもへの虐待を生まない地域をつくるために」  
岩手県立大学社会福祉学部 准教授 實方 由佳 氏

### 第2回（模擬事例検討）

- ・期 日：令和2年1月20日（月）
- ・会 場：アイーナ8階 802 研修室
- ・参加者：相談機関の相談関係者等 23名
- ・内 容：青少年に関する相談機関の相談事例検討

## 3 家庭づくり・健全な環境づくり事業（公益目的事業3）

青少年の健やかな成長の基盤である「家庭」の役割について、親等の認識・気付きを促し、親子のふれあい等、家庭の大切さを呼びかける啓発活動と実践活動への支援を行い、健全で明るい家庭づくり運動を推進しました。

また、青少年が非行や未成年者喫煙等に陥らないよう、健全育成の環境づくりを進めました。

### (1) いわて親子・家庭フォーラム《センター事業》

青少年の健全な育成・成長に果たすべき第一義的な責任は、家庭・保護者にあり、子育てには家庭における対話やふれあいが重要であることを啓発するとともに、地域全体で子育てを行う機運を醸成することを目的とし、子育て、家庭教育、親子の対話等をテーマとする講話とディスカッション等で構成するセミナーを開催するとともに、アイーナ全体を会場として、館内の入居団体との共催及びボランティアの企画段階からの参加等により、親子や家族で楽しみ、体験し、ふれあいを深めるイベントを開催しました。

#### ア 子ども・家庭・地域に関する交流セミナー（盛岡法務局との共催イベントとして実施）

##### とどけ！いわて ヒューマンメッセージ 2019

- 期 日：令和元年11月10日（日）
- 会 場：アイーナ7階 小田島組☆ほ～る
- 共 催：盛岡地方法務局、岩手県人権擁護委員連合会、岩手県人権啓発活動ネットワーク協議会
- 参加者：人権擁護委員、青少年育成関係者等 100名
- 内 容：作文コンテスト表彰式、啓発イベント

#### イ いわて親子フェスティバル（アイーナ内入居団体との共催及びNPO・企業等の協力による）

- 期 日：令和元年10月14日（月・祝）
- 会 場：いわて県民交流情報センター（アイーナ）
- ※参加者：親子5,831名、協力団体・出演者、青少年ボランティア248名
- 内 容：① 親子で楽しむクッキング、工作ショー・教室、高校生による演劇、SL乗車 等
- ② 親子で遊ぼう・親子で体験（親子で挑戦、親子で作る） 等
- ③ 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール作品展、キャラクター登場 等
- 運 営：会員団体や青少年ボランティアの企画運営への参画を図る。（企画会議6回、実行委員会3回）



(2) 「いわて家庭の日」普及拡大事業《法人事業・センター事業》

「いわて家庭の日」については、県民運動としての一層の普及・定着を図るため、県との連携を基本に、関係団体や協賛企業の協力も得ながら広報活動を実施、学校・PTAを通じた周知、事業所への浸透に取り組みました。

- ① 広報啓発活動 いわて家庭の日 PR カード・ポケットティッシュ配布 300 部
- ② 会員団体、関係団体等の大会等でのチラシ配布、説明等（大会等に合わせて実施）
- ③ ホームページによる広報（通年） <http://www.ipayd.server-shared.com/>
- ④ 電子版「いわて家庭の日」カレンダーによる広報（毎月）、協賛企業による広報協力（盛岡タイムス）、頒布品（ダイアリー、カレンダー）への掲載協力（楸白ゆり、杜陵高速印刷株）等
- ⑤ 県及び県教委との「いわて家庭の日」普及啓発に関する協議、協力要請
- ⑥ 「いわて家庭の日」協賛企業募集等 盛岡商工会議所への協力要請

(3) 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール《法人事業》

「いわて家庭の日」の取組の一環として、家庭への思いを深めるため、県内の児童・生徒を対象に、家族でどのような過ごし方をしたのか（わたしの思い出）等をテーマに絵画・ポスターを募集し、優秀作品を表彰しました。また、優秀作品は、アイーナ等で展示しました。

- ① 応募作品数：79 作品（小学校 49 作品、中学校・高校 30 作品）
- ② 入賞作品 （9 月 9 日選考委員会決定）

児童の部 最優秀賞 1 優秀賞 2 優良賞 5 計 8 作品

生徒の部 最優秀賞 1 優秀賞 1 優良賞 2 計 4 作品

児童の部

| 賞    | 画題               | 氏名     | 学校名            |
|------|------------------|--------|----------------|
| 最優秀賞 | みんなでわいわいおいしい朝ごはん | 菅原 将義  | 奥州市立常盤小学校 5 年  |
| 優秀賞  | 家族みんなで見たアサガオ     | 伊藤 良宙  | 北上市立江釣子小学校 4 年 |
| 〃    | 家族で農業            | 高橋 美奈  | 北上市立江釣子小学校 4 年 |
| 優良賞  | 楽しかったランドセルえらび    | 齊藤 結花  | 北上市立飯豊小学校 3 年  |
| 〃    | 楽しかったジェットコースター   | 高橋 寧々  | 北上市立飯豊小学校 3 年  |
| 〃    | ずっと一緒だよ          | 浅水 穂乃香 | 北上市立和賀東小学校 5 年 |
| 〃    | 家族との思い出          | 石倉 穂夏  | 滝沢市立姥屋敷小学校 6 年 |
| 〃    | 家族でキャンプ          | 蒲生 朱里  | 軽米町立軽米小学校 6 年  |

生徒の部

| 賞    | 画題         | 氏名    | 学校名             |
|------|------------|-------|-----------------|
| 最優秀賞 | 小さな家庭      | 鬼柳 莉緒 | 北上市立北上中学校 3 年   |
| 優秀賞  | 家族の誇り      | 宇部 優海 | 久慈市立宇部中学校 2 年   |
| 優良賞  | あたたかい家族    | 及川 朋花 | 奥州市立江刺第一中学校 1 年 |
| 〃    | わたしと家族の原風景 | 新沼 由唯 | 岩手県立住田高等学校 2 年  |

③ 作品展

- ・ 令和元年 10 月 7 日(月)～20 日(日) アイーナ 6 階ラウンジ
  - ・ 令和元年 11 月 7 日(木)～11 月 17 日(日) さくら野百貨店連絡通路りぼん橋
- ※ 北上市地域安全推進市民会議と共催により実施

④ 表彰式 令和元年 11 月 17 日(日) 北上市民交流プラザ展示室

(4) 子どもと向きあう親の講座《法人事業》（※公益目的事業 1 (2) 「青少年育成地域活動支援事業」と合わせて実施）

家庭の役割を地域全体で再認識し、家庭の養育力、地域の教育力の向上を図るため、地域活動団体の行う講演などを共催し、費用の一部を助成するものです。

助成額：1 件当たり 5 万円以内（予算の範囲内で決定）

**(5) 親子ふれあい広場「観武ヶ原まつり」《法人事業》**

毎年、青少年会館のある盛岡市みたち地区において、地域住民、青少年育成活動者等が一体となって開催される「観武ヶ原まつり」に関し、ボランティアの参加・協力を得ながら、その実施に協力しました。

期 日：令和元年9月1日（日）

会 場：岩手県青少年会館隣接駐車場

参加者：地域の大人、子ども、ボランティア等 約600名

内 容：「オリジナルシールを作ろう」「世界に一つだけのけん玉」を出店。その他青少年団体等屋台、バザー及びアトラクション等

**(6) 非行・被害防止県民大会の開催等**

**ア 青少年を非行・被害から守る県民大会《県補助事業》**

「社会を明るくする運動岩手県推進委員会」との共催により実施しました。

期 日：令和元年7月11日（木）

会 場：アイーナ 7階小田島組☆ほ～る

参加者：青少年育成関係者 456名

内 容：講演、アトラクション、宣言等

アトラクション 非行・被害防止啓発演奏会 岩手県警察音楽隊

意見発表「挑戦し続ける勇気」岩手県立一関第一高等学校1年 小野寺 千里さん  
（前年度「わたしの主張岩手県大会」最優秀賞）

作文発表「どんな人も独りにしない社会をつくる」盛岡市立城西中学校1年 守屋 優花さん  
（前年度「社会を明るくする運動作文コンテスト」岩手県推進委員会委員長賞、全国連合小学校長会会長賞）

「優しい心のつながりを」花巻市立湯口中学校1年 高橋 陽菜さん

（前年度「社会を明るくする運動作文コンテスト」岩手県推進委員会委員長賞（小学校の部）、日本BBS連盟会長賞）

講演演題 「大人も子どももすばらしい人生を送るために」

講 師 日本体育大学 浜松日体中・高等学校 講師 和田 慎市 氏

**イ 青少年の非行・被害防止県民運動の実施《法人事業》**

「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月1日～31日）」に呼応し、関係機関、団体や地域住民の相互協調、共通理解のもとに、青少年の非行・被害の防止活動を進めました。

また、引き続き、「朝のあいさつ運動」「愛の一声運動」の推進を図るとともに、万引き防止対策に取組み、関係機関・団体と協力して非行防止運動を推進しました。

**ウ 未成年者喫煙防止及び薬物乱用防止等啓発活動の推進《法人事業》**

関係機関・団体と提携を図りながら、ポスターの配布等啓発運動を推進しました。

**(7) 災害復興支援事業《法人事業・センター事業》**

東日本大震災の被災者支援、県民とアイーナの絆づくりを目的に、青年ボランティアの参加（売り子等）を得て、復興バザーをアイーナ入居の各センター連携事業として共催しました。

・内 容：アイーナ4階県民プラザにおいて、アイーナブース（アイーナ職員供出物品の販売）を設置、個人・福祉施設出店、被災地からの出店販売

期 日：第19回 令和元年6月15日（土）参加者約500名（売上金額 110,229円）

第20回 令和元年10月14日（月）参加者約500名（売上金額 66,179円）

※ なお、バザーの売上金176,408円は、その全額を岩手県災害義援金募集委員会、日本赤十字社に寄附

会 場：アイーナ4階 県民プラザ

#### 4 その他の事業（青少年育成器材貸出事業）《法人事業・センター事業》

青少年の活動や青少年育成事業に必要とされる器材について関係団体の利用に供します。

- ① 視聴覚器材（ワイヤレスアンプ、スクリーン、ビデオプロジェクター 等）
- ② その他（紙芝居、ギター、ハンドメガホン、トランシーバー 等）

#### 5 県民会議機関の運営

##### (1) 通常総会

期 日：令和元年6月12日（水）

会 場：アイーナ8階 804-A 会議室

- 議 題：① 平成30年度事業報告について  
② 平成30年度収支決算の承認について  
③ 役員を選任について

##### (2) 理事会

###### ア 第1回

期 日：令和元年5月15日（水）

会 場：アイーナ8階 802 会議室

- 議 題：① 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について  
② 総会の日時、場所及び付議事項について  
③ 役員候補者について  
④ 会計規程の改正について  
⑤ 会長等の職務の執行状況について  
⑥ 入会の承認について  
⑦ その他

###### イ 第2回

期 日：令和元年6月12日（水）

会 場：アイーナ8階 802 会議室

- 議 題：① 会長の選定について  
② 副会長の選定について  
③ 理事の順序について  
④ 特定理事の指定について  
⑤ その他

###### ウ 第3回

期 日：令和2年3月18日（水）

会 場：アイーナ8階 802 会議室

- 議 題：① 令和元年度事業実施状況について  
② 令和元年度補正予算について  
③ 令和2年度活動方針及び事業計画について  
④ 令和2年度収支予算について  
⑤ その他

##### (3) 三役会議

###### ア 第1回

出席者：会長、副会長及び常務理事

期 日：令和元年10月31日（木）

会 場：アイーナ6階 講師控室1・2

- 議 題：① 令和元年度事業実施状況について  
② 新たな「いわて青少年育成推進計画」について

③ その他

イ 第2回

出席者：会長、副会長及び常務理事

期 日：令和2年1月30日（木）

会 場：アイーナ6階 講師控室1・2

議 題：① 新たな「いわて青少年育成推進計画」について

② その他

ウ 第3回

期 日：令和2年3月3日（火）

会 場：アイーナ6階 講師控室1・2

議 題：① 「いわて青少年育成推進計画」について

② 令和元年度事業実施状況について

③ 令和元年度補正予算について

④ 令和2年度活動方針及び事業計画について

⑤ 令和2年度収支予算について

⑥ その他